

各 位

上場会社名	初穂商事株式会社
代表者	代表取締役社長 斎藤 悟
(コード番号)	7425)
問合せ先責任者	専務取締役管理本部長 高野 温志
(TEL	052-222-1066)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,880	△100	△47	△145	△17.60
今回発表予想(B)	13,302	△31	17	△113	△13.73
増減額(B-A)	422	69	64	32	
増減率(%)	3.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	14,184	△91	△32	△51	△6.19

#### 修正の理由

売上高は、年後半より新興国の需要が追い風となり、企業業績の大幅な改善を背景に中小の商業施設や病院、老人ホームなどの建設が相次ぎました。住宅市場につきましては、家計の所得が緩やかに増加する中で、住宅ローン減税など各種住宅購入促進策が拡充されたことから、8月以降の住宅着工戸数は、持家、マンションともに前年比2桁増と急速に増加してまいりました。オフィスビル市場は、依然として厳しい状況が続いているものの、駅周辺の開発によるビルの建設や、東京都心部では、マンション建設に加え高層ビルの建替え需要が相次いだことなどにより、売上を大きく伸ばしました。このようなことから、当社の主力商品の軽量鋼製下地材・不燃材の売上高(10月～12月)は、直前四半期に比べ17%増加しました。また、エコカー減税の駆け込み需要により、自動車部品向け需要が急伸し、鉄線類の売上高が増加しました。

この結果、売上高は、133億2百万円(前回発表予想比4億22百万円増)となる見込みであります。利益面につきましては、売上高の増加により、営業損失31百万円(前回発表予想は営業損失1億円)、経常利益17百万円(前回発表予想は経常損失47百万円)、当期純損失1億13百万円(前回発表予想は当期純損失1億45百万円)となる見込みであります。

以 上